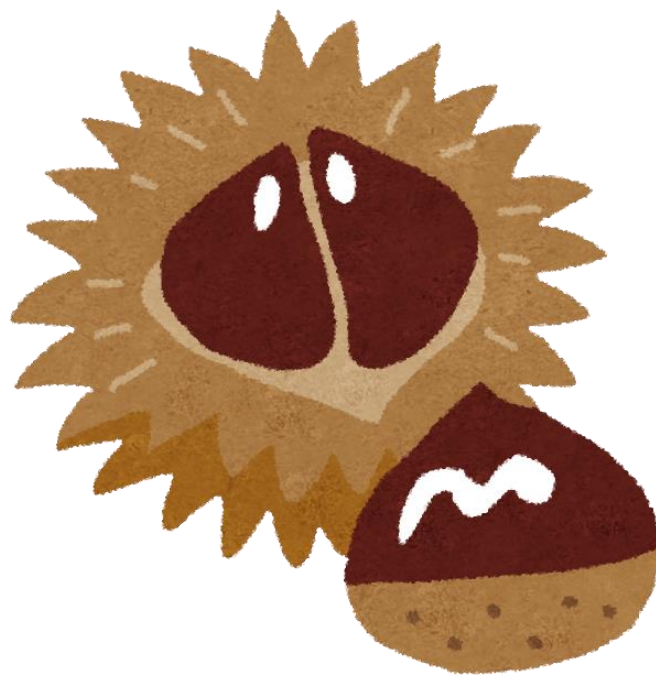




なかしん

景況レポート



No.167

2026 年 秋
中兵庫信用金庫
経営企画部

第 167 回 なかしん中小企業景気動向調査

(2026 年 9 月)

当金庫では、四半期ごとに景気の状態を知る一助として、お取引先のご協力により景気動向調査を実施しております。以下は、2026 年 9 月を調査時点とする 2026 年度第 2 四半期(2026 年 7 月～9 月)実績(9 月は予想)、及び 2026 年度第 3 四半期(2026 年 10 月～12 月)見通しについての調査結果です。

経営者の方々をはじめ、皆さまのご参考になれば幸いです。

調 査 時 点	2026 年 9 月
調 査 対 象	中兵庫信用金庫お取引先 [別表 1]
調 査 方 法	聞き取り法
依 頼 先 数	204 先
有効回答数	204 先 (回答率 100.0%)
そ の 他	この調査における景気判断の基準として、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index、略して DI、拡散指数という)による方法を採用しています。 これは、生産・販売・在庫・収益等について前期に比較して、(A)増加(あるいは「上昇」)(B)変わらず、(C)減少(あるいは「下降」)のいずれかに回答していただき、この(A)(B)(C)の回答割合(%)のうち(A)から(C)を差し引いた値(DI)を時系列的に観察することによって景況をみる方法です。

[別表 1] 業 種 別 構 成

業 種	依頼数	回答数
製 造 業	53	53
卸 売 業	19	19
小 売 業	37	37
サービス業	40	40
建 設 業	37	37
不 動 産 業	18	18
合 計	204	204

[調査地域]

丹波市・丹波篠山市・三田市
西脇市・多可郡・加東市
三木市・小野市
神戸市・西宮市北部
福知山市

連絡先 〒669-1321 三田市けやき台 1-4-3 ☎ 079-569-7153

中兵庫信用金庫 経営企画部 広報課

景気の状態について

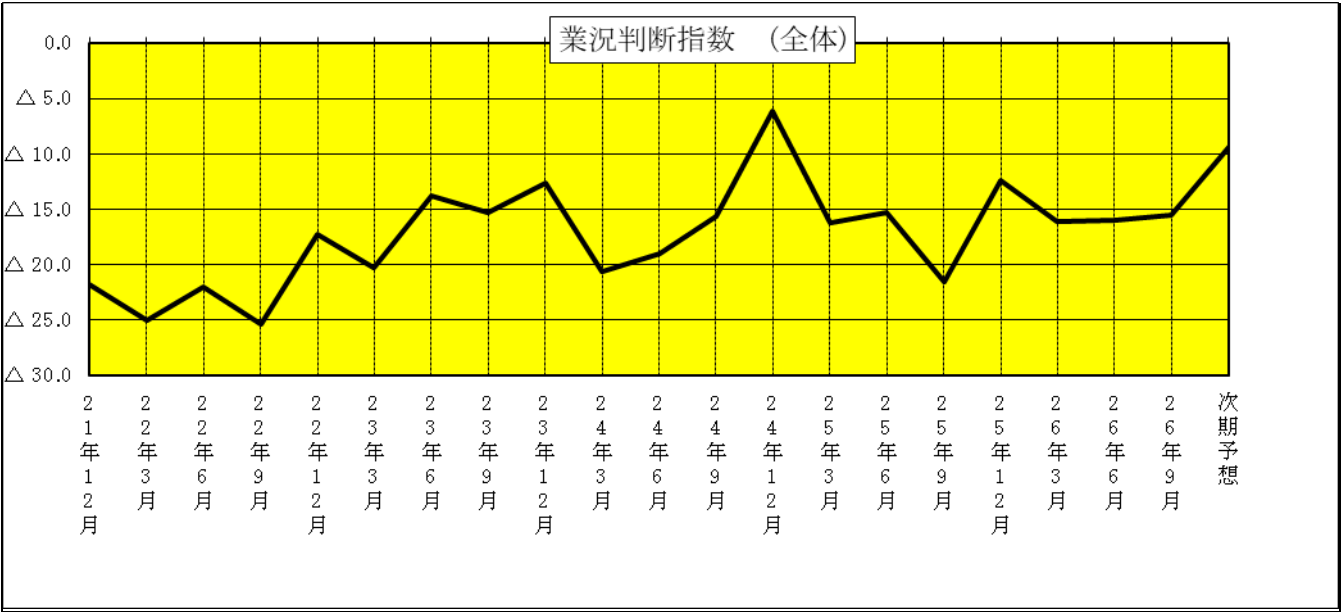
1. 総合的景況判断

業況の推移

調査時点	変 動	良い	普通	悪い	D I
		A	B	C	(A-C)
2025年	7～9月	8.1	62.3	29.6	△ 21.5
2025年	10～12月	12.7	62.2	25.1	△ 12.4
2026年	1～3月	9.5	64.9	25.6	△ 16.1
2026年	4～6月	8.8	66.4	24.8	△ 16.0
2026年	7～9月	10.4	63.7	25.9	△ 15.5
見通し	10～12月	11.9	66.8	21.3	△ 9.4

業種別業況(2026年7月～9月)

業 種	変 動	良い	普通	悪い	D I	次回予想	
		A	B	C	(A-C)	前回調査比	今回調査比
製 造 業		7.7	75.0	17.3	△ 9.6	2.0	3.8
非 製 造 業		11.4	59.7	28.9	△ 17.5	0.0	△ 14.0
(卸 売 業)		0.0	73.7	26.3	△ 26.3	5.1	△ 31.6
(小 売 業)		14.3	48.6	37.1	△ 22.8	△ 1.1	△ 16.7
(サービス業)		10.0	67.5	22.5	△ 12.5	△ 12.5	0.0
(建 設 業)		13.5	56.8	29.7	△ 16.2	4.8	△ 10.8
(不 動 産 業)		16.7	55.5	27.8	△ 11.1	6.2	△ 27.8
全 体		10.4	63.7	25.9	△ 15.5	0.5	△ 9.4



○今 期

今期（2026 年 7 月～9 月期）の景況をみると、業況 D I は前回調査比で 0.5 ㊦増加の△15.5 と前回より若干の改善となった。

業種別でみると、不動産業で 6.2 ㊦、卸売業で 5.1 ㊦、建設業で 4.8 ㊦、製造業で 2.0 ㊦増加と改善し、サービス業で 12.5 ㊦、卸売業で 1.1 ㊦減少と悪化した。

○次期予想

次期予想について、業況 D I は今回調査比で 6.1 ㊦増加の△9.4 と改善する見通しである。

業種別でみると、製造業で 13.4 ㊦、サービス業で 12.5 ㊦、小売業で 6.1 ㊦、建設業で 5.4 ㊦改善する見通しで、不動産業で 16.7 ㊦、卸売業で 5.3 ㊦減少と悪化する見通しである。

業種別業況判断

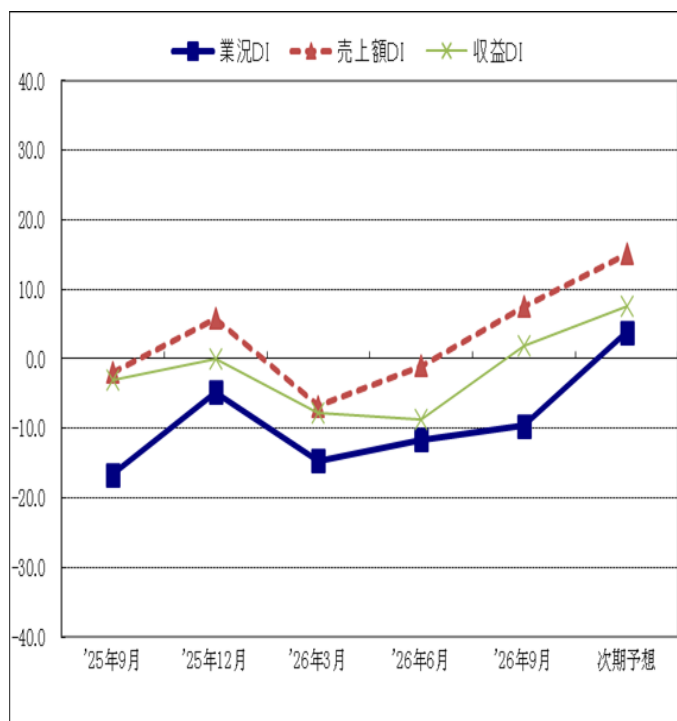
① 製造業

業況DIは前回調査より 2.0 ㊦増加の△9.6、売上額DIは 8.5 ㊦増加の 7.5、収益DIは 10.5 ㊦増加の 1.8 と全てにおいて改善した。

次期予想では、業況DIは 13.4 ㊦増加の 3.8、売上額DIは 7.6 ㊦増加の 15.1、収益DIは 5.7 ㊦増加の 7.5 と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'25年9月	'25年12月	'26年3月	'26年6月	'26年9月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 16.6	△ 4.8	△ 14.6	△ 11.6	△ 9.6	2.0	3.8	13.4
売上額DI	△ 1.9	5.8	△ 6.8	△ 1.0	7.5	8.5	15.1	7.6
収益DI	△ 3.0	0.0	△ 7.8	△ 8.7	1.8	10.5	7.5	5.7



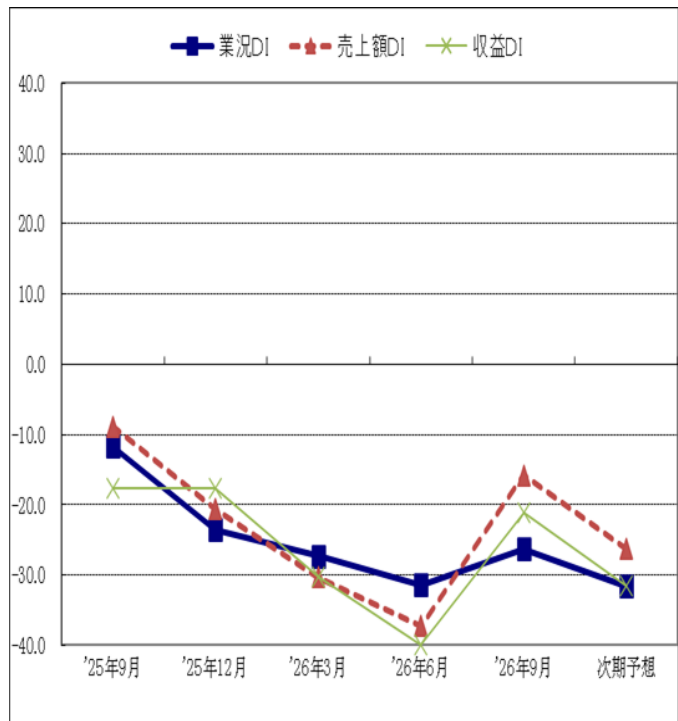
② 卸売業

業況DIは前回調査より 5.1 ㊦増加の△26.3、売上額DIは 21.4 ㊦増加の△15.8、収益DIは 18.9 ㊦増加の△21.1 と全てにおいて改善した。

次期予想では、業況DIは 5.3 ㊦減少の△31.6、売上額DIは 10.5 ㊦減少の△26.3、収益DIは 10.4 ㊦減少の△31.5 と全てにおいて悪化する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'25年9月	'25年12月	'26年3月	'26年6月	'26年9月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 11.7	△ 23.5	△ 27.3	△ 31.4	△ 26.3	5.1	△ 31.6	△ 5.3
売上額DI	△ 8.8	△ 20.6	△ 30.3	△ 37.2	△ 15.8	21.4	△ 26.3	△ 10.5
収益DI	△ 17.6	△ 17.6	△ 30.3	△ 40.0	△ 21.1	18.9	△ 31.5	△ 10.4



③

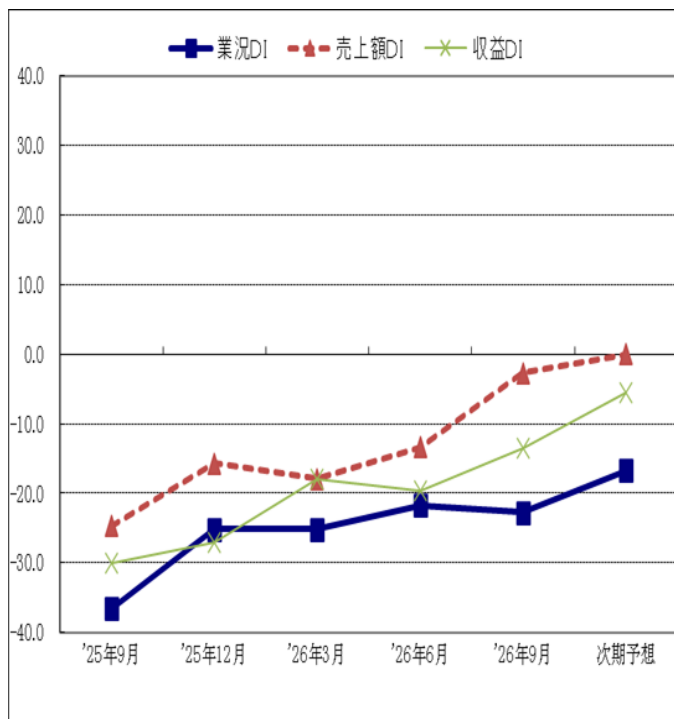
小売業

業況D Iは前回調査より 1.1 ㊦減少の△22.8と悪化、売上額D Iは10.7 ㊦増加の△2.7、収益D Iは6.1 ㊦増加の△13.5と改善した。

次期予想では、業況D Iは6.1 ㊦増加の△16.7、売上額D Iは2.7 ㊦増加の0.0、収益D Iは8.0 ㊦増加の△5.5と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'25年9月	'25年12月	'26年3月	'26年6月	'26年9月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 36.6	△ 25.2	△ 25.2	△ 21.7	△ 22.8	△ 1.1	△ 16.7	6.1
売上額DI	△ 24.7	△ 15.7	△ 17.9	△ 13.4	△ 2.7	10.7	0.0	2.7
収益DI	△ 30.1	△ 27.1	△ 17.9	△ 19.6	△ 13.5	6.1	△ 5.5	8.0



④

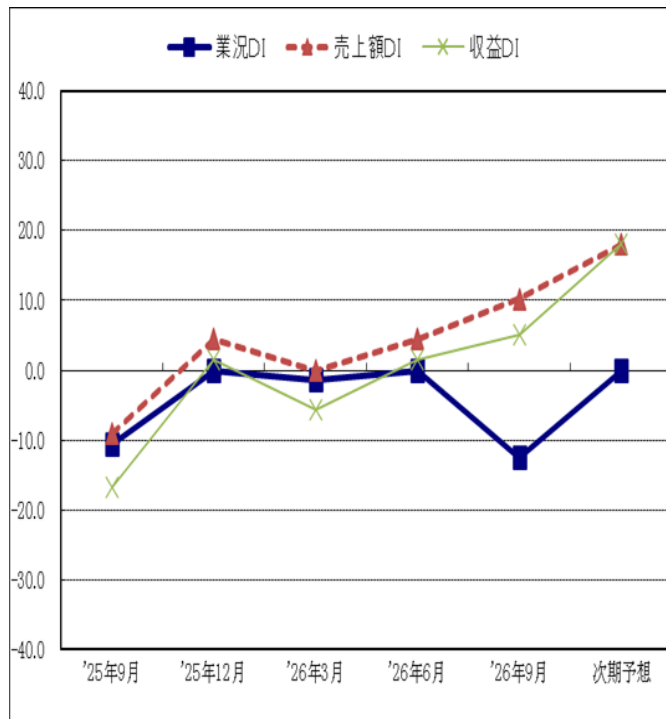
サービス業

業況D Iは前回調査より 12.5 ㊦減少の△12.5と悪化、売上額D Iは5.7 ㊦増加の10.2、収益D Iは3.6 ㊦増加の5.1と改善した。

次期予想では、業況D Iは12.5 ㊦増加の0.0、売上額D Iは7.8 ㊦増加の18.0、収益D Iは12.9 ㊦増加の18.0と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'25年9月	'25年12月	'26年3月	'26年6月	'26年9月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 10.6	0.0	△ 1.4	0.0	△ 12.5	△ 12.5	0.0	12.5
売上額DI	△ 9.1	4.5	0.0	4.5	10.2	5.7	18.0	7.8
収益DI	△ 16.7	1.5	△ 5.7	1.5	5.1	3.6	18.0	12.9



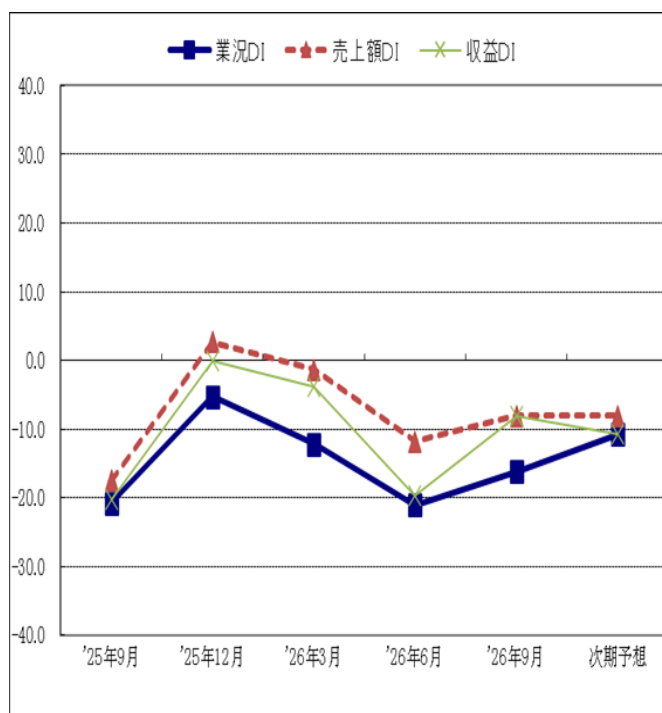
⑤ 建設業

業況D Iは前回調査より 4.8 ㊦増加の△16.2、売上額D Iは 3.7 ㊦増加の△8.1、収益D Iは 11.6 ㊦増加の△8.1 と全てにおいて改善した。

次期予想では、業況D Iは 5.4 ㊦増加の△10.8 と改善する見通し、売上額D Iは増減なく△8.1の見通し、収益D Iは 2.7 ㊦減少の△10.8 と悪化する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'25年9月	'25年12月	'26年3月	'26年6月	'26年9月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 20.8	△ 5.3	△ 12.2	△ 21.0	△ 16.2	4.8	△ 10.8	5.4
売上額DI	△ 17.5	2.7	△ 1.3	△ 11.8	△ 8.1	3.7	△ 8.1	0.0
収益DI	△ 20.3	0.0	△ 3.9	△ 19.7	△ 8.1	11.6	△ 10.8	△ 2.7



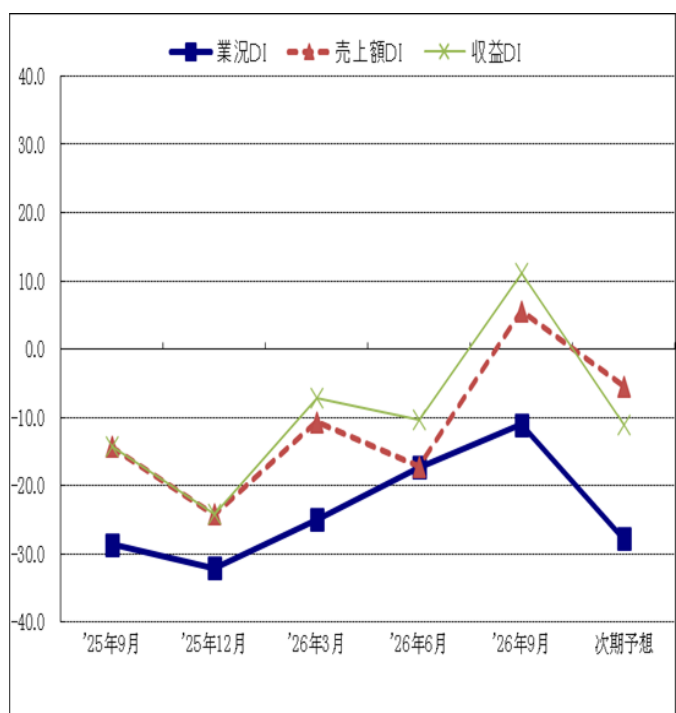
⑥ 不動産業

業況D Iは前回調査より 6.2 ㊦増加の△11.1、売上額D Iは 22.8 ㊦増加の 5.6、収益D Iは 21.5 ㊦増加の 11.1 と全てにおいて改善した。

次期予想では、業況D Iは 16.7 ㊦減少の△27.8、売上額D Iは 11.2 ㊦減少の△5.5、収益D Iは 22.2 ㊦減少の△11.1 と全てにおいて悪化する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'25年9月	'25年12月	'26年3月	'26年6月	'26年9月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 28.6	△ 32.1	△ 25.0	△ 17.3	△ 11.1	6.2	△ 27.8	△ 16.7
売上額DI	△ 14.3	△ 24.2	△ 10.7	△ 17.2	5.6	22.8	△ 5.5	△ 11.1
収益DI	△ 14.3	△ 24.1	△ 7.1	△ 10.4	11.1	21.5	△ 11.1	△ 22.2



2. 売上状況

売上状況は、前回調査に比べ、「増加」とする企業が 7.9 ㊦増加し、「減少」とする企業は 2.4 ㊦減少したことから、D I は 10.3 ㊦増加し 0.9 と改善した。

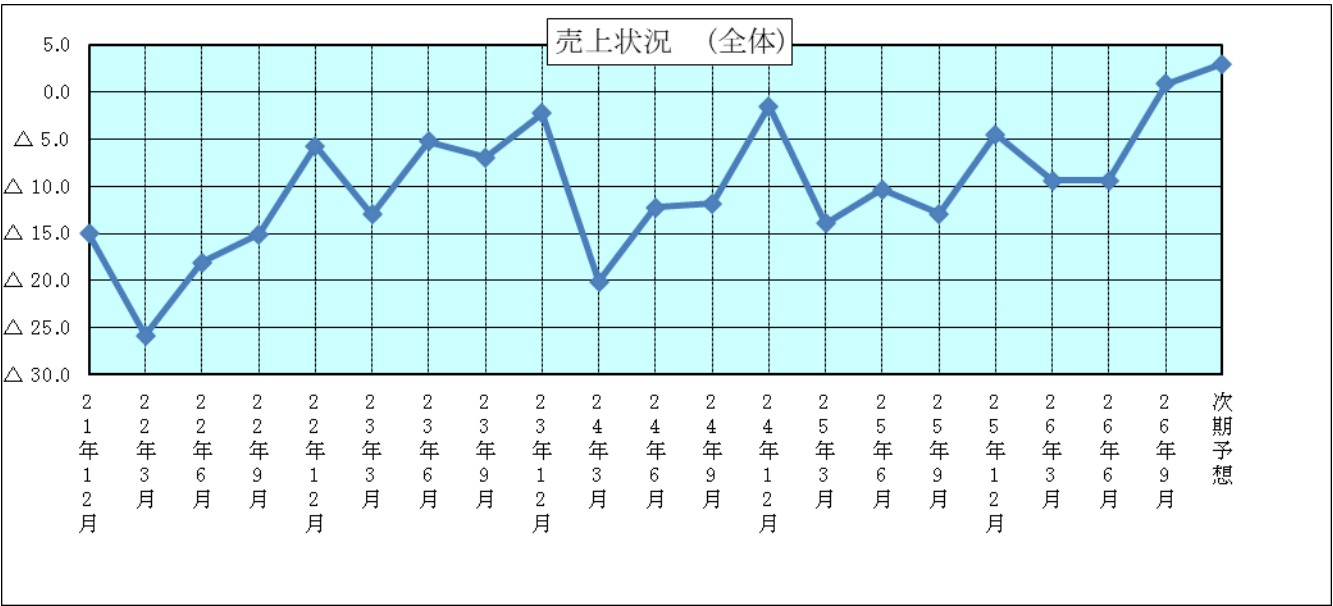
次回予想 D I は 2.1 ㊦増加の 3.0 と改善する見通しである。

売上状況の推移

調査時点		変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)
2025年	7～9月		14.6	57.9	27.5	△ 10.3
2025年	10～12月		19.3	56.9	23.8	△ 12.9
2026年	1～3月		13.3	64.0	22.7	△ 4.5
2026年	4～6月		15.7	59.2	25.1	△ 9.4
2026年	7～9月		23.6	53.7	22.7	0.9
	前回調査比		7.9	△ 5.5	△ 2.4	10.3
見通し	10～12月		21.3	60.4	18.3	3.0
	今回調査比		△ 2.3	6.7	△ 4.4	2.1

業種別売上状況(2026年7月～9月)

業 種	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		26.4	54.7	18.9	7.5	△ 1.0	15.1
卸 売 業		10.5	63.2	26.3	△ 15.8	△ 37.2	△ 26.3
小 売 業		27.0	43.3	29.7	△ 2.7	△ 13.4	0.0
サ ー ビ ス 業		25.6	59.0	15.4	10.2	4.5	18.0
建 設 業		18.9	54.1	27.0	△ 8.1	△ 11.8	△ 8.1
不 動 産 業		27.8	50.0	22.2	5.6	△ 17.2	△ 5.5
全 体		23.6	53.7	22.7	0.9	△ 9.4	3.0



3. 収益状況

収益状況は、前回調査に比べ、「増加」とする企業は 6.4 ㊦増加し、「減少」とする企業は 4.6 ㊦減少したことから、D I は 11.0 ㊦増加し△3.5 と改善した。

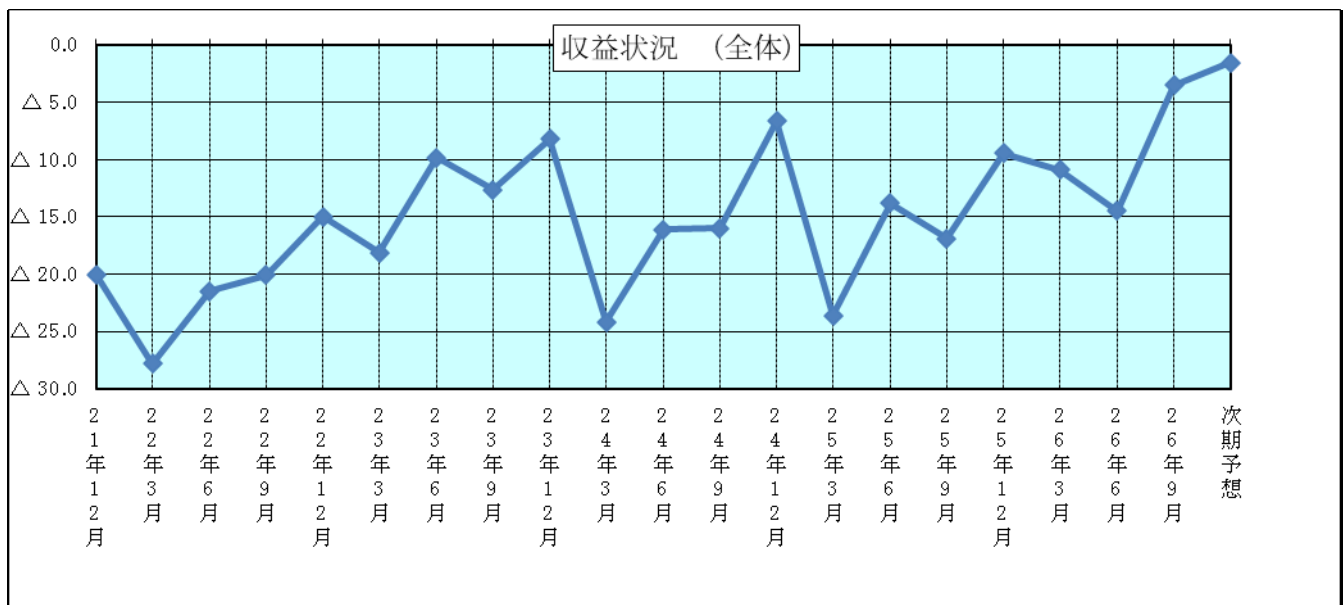
次回予想D I は 2.0 ㊦増加の△1.5 と改善する見通しである。

収 益 状 況 の 推 移

調査時点	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)
2025年	7～9月	11.8	59.5	28.7	△ 16.9
2025年	10～12月	14.1	62.4	23.5	△ 9.4
2026年	1～3月	12.1	64.9	23.0	△ 10.9
2026年	4～6月	11.8	61.9	26.3	△ 14.5
2026年	7～9月	18.2	60.1	21.7	△ 3.5
	前回調査比	6.4	△ 1.8	△ 4.6	11.0
見通し	10～12月	18.3	61.9	19.8	△ 1.5
	今回調査比	0.1	1.8	△ 1.9	2.0

業種別収益状況(2026年7月～9月)

業 種	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		22.6	56.6	20.8	1.8	△ 8.7	7.5
卸 売 業		10.5	57.9	31.6	△ 21.1	△ 40.0	△ 31.5
小 売 業		16.2	54.1	29.7	△ 13.5	△ 19.6	△ 5.5
サ ー ビ ス 業		20.5	64.1	15.4	5.1	1.5	18.0
建 設 業		10.8	70.3	18.9	△ 8.1	△ 19.7	△ 10.8
不 動 産 業		27.8	55.5	16.7	11.1	△ 10.4	△ 11.1
全 体		18.2	60.1	21.7	△ 3.5	△ 14.5	△ 1.5



4. 在庫・販売価格・資金繰り状況

○在庫

在庫状況は、前回調査に比べ、「過剰」とする企業が2.0ポイント増加し、「不足」とする企業が1.2ポイント減少したことから、D Iは3.2ポイント増加の0.0となった。

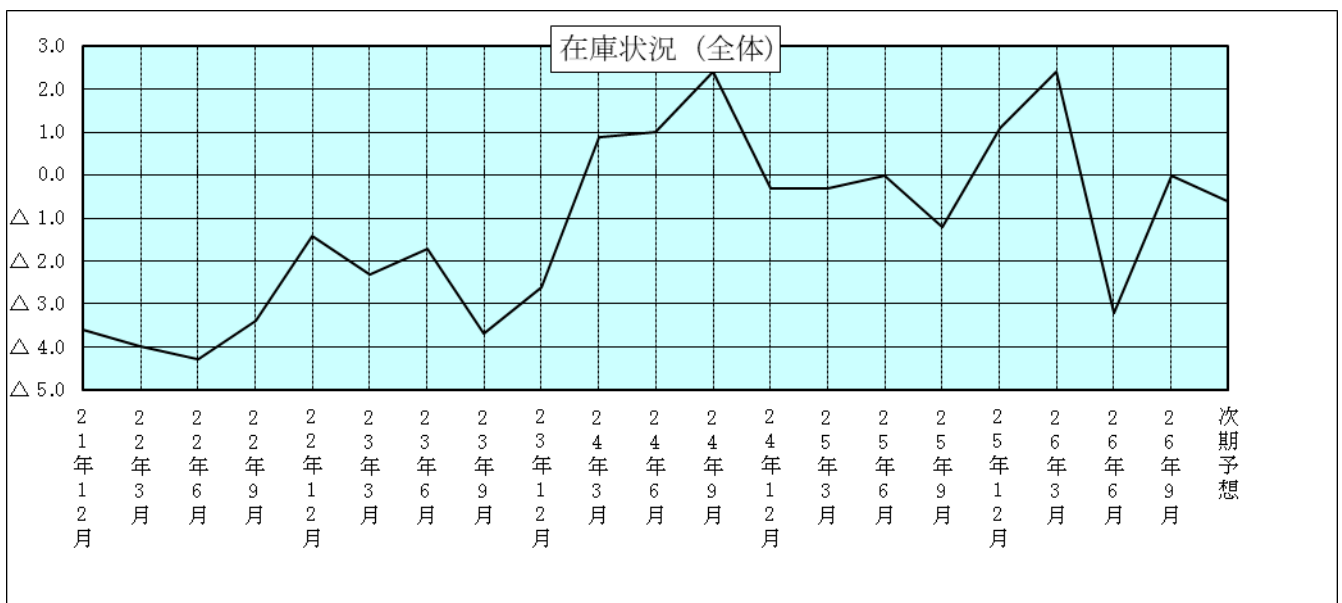
次回予想D Iは0.6ポイント減少の△0.6となる見通しである。

在庫状況の推移

調査時点	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
2025年	7～9月	6.7	85.4	7.9	△ 1.2
2025年	10～12月	6.8	87.5	5.7	1.1
2026年	1～3月	6.9	88.6	4.5	2.4
2026年	4～6月	5.9	85.0	9.1	△ 3.2
2026年	7～9月	7.9	84.2	7.9	0.0
	前回調査比	2.0	△ 0.8	△ 1.2	3.2
見通し	10～12月	7.4	84.6	8.0	△ 0.6
	今回調査比	△ 0.5	0.4	0.1	△ 0.6

業種別在庫状況(2026年7月～9月)

業 種	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		9.4	84.9	5.7	3.7	0.9	1.9
卸 売 業		15.8	73.7	10.5	5.3	0.0	5.2
小 売 業		13.5	81.1	5.4	8.1	1.0	2.8
建 設 業		0.0	94.6	5.4	△ 5.4	△ 9.2	0.0
不 動 産 業		0.0	77.8	22.2	△ 22.2	△ 20.7	△ 22.2
全 体		7.9	84.2	7.9	0.0	△ 3.2	△ 0.6



○販売価格

販売価格は、前回調査に比べ、「上昇」とする企業が 5.9 ㊦増加し、「下降」とする企業が 0.8 ㊦減少したことから、D I は 6.7 ㊦増加し 19.7 となった。

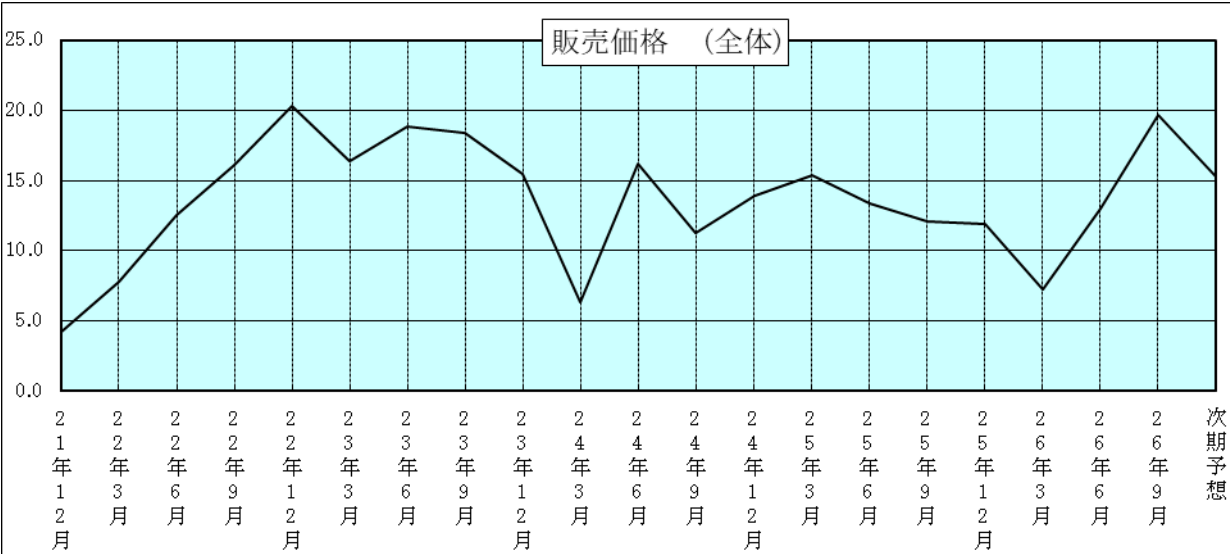
次回予想D I は、4.4 ㊦減少の 15.3 となる見通しである。

販売価格の推移

調査時点		変 動	上 昇 A	変らず B	下 降 C	D I (A-C)
2025年	7～9月		18.4	75.3	6.3	12.1
2025年	10～12月		17.1	77.7	5.2	11.9
2026年	1～3月		12.9	81.4	5.7	7.2
2026年	4～6月		18.7	75.6	5.7	13.0
2026年	7～9月		24.6	70.5	4.9	19.7
	前回調査比		5.9	△ 5.1	△ 0.8	6.7
見通し	10～12月		19.3	76.7	4.0	15.3
	今回調査比		△ 5.3	6.2	△ 0.9	△ 4.4

業種別販売価格状況(2026年7月～9月)

業 種		変 動	上 昇 A	変らず B	下 降 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業			28.3	71.7	0.0	28.3	13.6	26.4
卸 売 業			21.1	63.1	15.8	5.3	5.7	0.0
小 売 業			35.1	56.8	8.1	27.0	17.6	17.1
サ ー ビ ス 業			17.9	79.5	2.6	15.3	17.9	15.0
建 設 業			16.2	78.4	5.4	10.8	6.6	13.5
不 動 産 業			27.8	66.6	5.6	22.2	10.4	0.0
全 体			24.6	70.5	4.9	19.7	13.0	15.3



○資金繰り状況

資金繰り状況は、前回調査に比べ、「楽」とする企業は 3.7 ㊦増加し、「苦しい」とする企業が 4.1 ㊦減少したことから、D I は 7.8 ㊦増加し△7.9 と改善した。

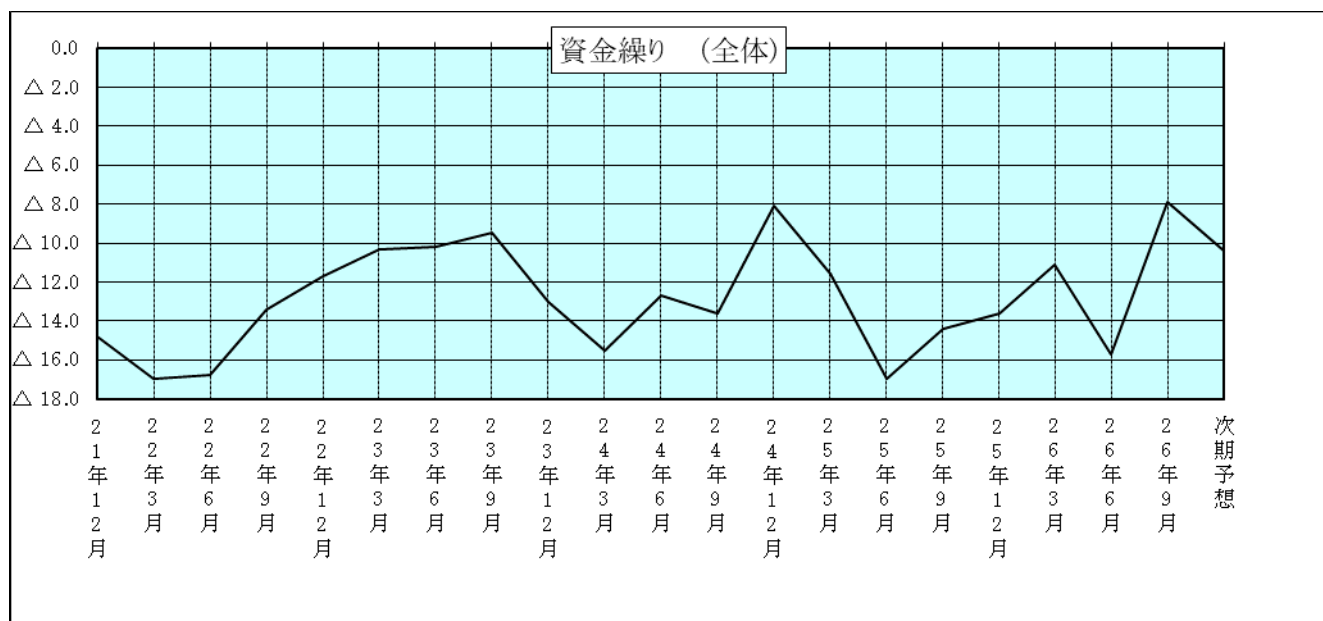
次回予想D I は、2.5 ㊦減少の△10.4 と悪化する見通しである。

資 金 繰 状 況 の 推 移

調査時点	変 動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)
2025年	7～9月	2.0	81.6	16.4	△ 14.4
2025年	10～12月	2.7	81.0	16.3	△ 13.6
2026年	1～3月	4.2	80.5	15.3	△ 11.1
2026年	4～6月	2.2	79.9	17.9	△ 15.7
2026年	7～9月	5.9	80.3	13.8	△ 7.9
	前回調査比	3.7	0.4	△ 4.1	7.8
見通し	10～12月	5.0	79.6	15.4	△ 10.4
	今回調査比	△ 0.9	△ 0.7	1.6	△ 2.5

業種別資金繰り状況(2026年7月～9月)

業 種	変 動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		3.8	83.0	13.2	△ 9.4	△ 11.7	△ 15.1
卸 売 業		0.0	78.9	21.1	△ 21.1	△ 25.7	△ 5.2
小 売 業		10.8	75.7	13.5	△ 2.7	△ 16.4	△ 17.2
サ ー ビ ス 業		12.5	72.5	15.0	△ 2.5	△ 10.4	△ 7.5
建 設 業		2.7	83.8	13.5	△ 10.8	△ 19.8	△ 5.4
不 動 産 業		0.0	94.1	5.9	△ 5.9	△ 17.2	△ 5.9
全 体		5.9	80.3	13.8	△ 7.9	△ 15.7	△ 10.4



5. 雇用面の動き

○残業時間

残業時間の状況は、前回調査に比べ、「増加」とする企業が2.2 ㊦増加し、「減少」とする企業が2.7 ㊦増加したことから、D I は0.5 ㊦減少の△2.9 と悪化した。

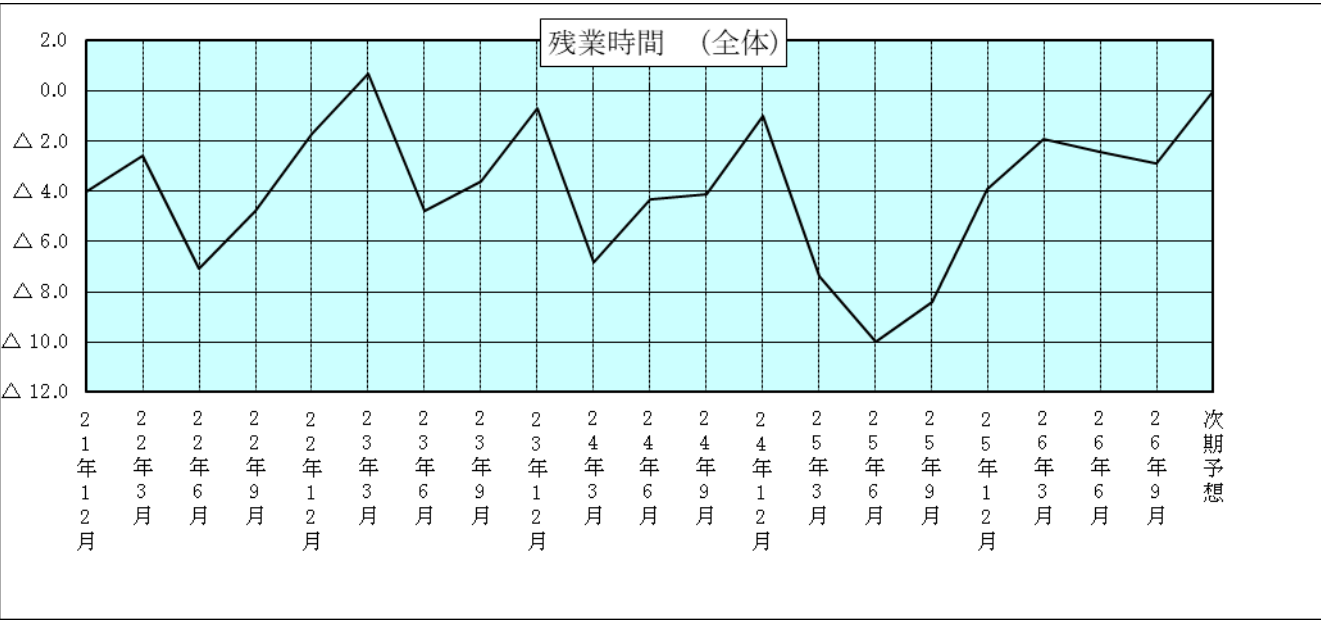
次回予想D I は、2.9 ㊦増加の0.0 と改善する見通しである。

残 業 時 間 状 況 の 推 移

調査時点		変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)
2025年	7～9月		3.6	84.4	12.0	△ 8.4
2025年	10～12月		6.5	83.1	10.4	△ 3.9
2026年	1～3月		6.0	86.1	7.9	△ 1.9
2026年	4～6月		3.7	90.2	6.1	△ 2.4
2026年	7～9月		5.9	85.3	8.8	△ 2.9
	前回調査比		2.2	△ 4.9	2.7	△ 0.5
見通し	10～12月		7.4	85.2	7.4	0.0
	今回調査比		1.5	△ 0.1	△ 1.4	2.9

業種別残業時間状況(2026年7月～9月)

業 種	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		11.3	77.4	11.3	0.0	△ 1.0	1.9
卸 売 業		0.0	84.2	15.8	△ 15.8	△ 8.6	△ 10.5
小 売 業		2.7	94.6	2.7	0.0	△ 3.1	2.7
サ ー ビ ス 業		7.5	77.5	15.0	△ 7.5	△ 4.5	0.0
建 設 業		2.7	94.6	2.7	0.0	5.3	0.0
不 動 産 業		5.6	88.8	5.6	0.0	△ 13.8	0.0
全 体		5.9	85.3	8.8	△ 2.9	△ 2.4	0.0



○人 手

人手の状況は、前回調査と比べ、「過剰」とする企業が 0.8 ㊦増加し、「不足」とする企業も 10.0 ㊦増加したことから、D I は 9.2 ㊦減少の△25.4 であった。

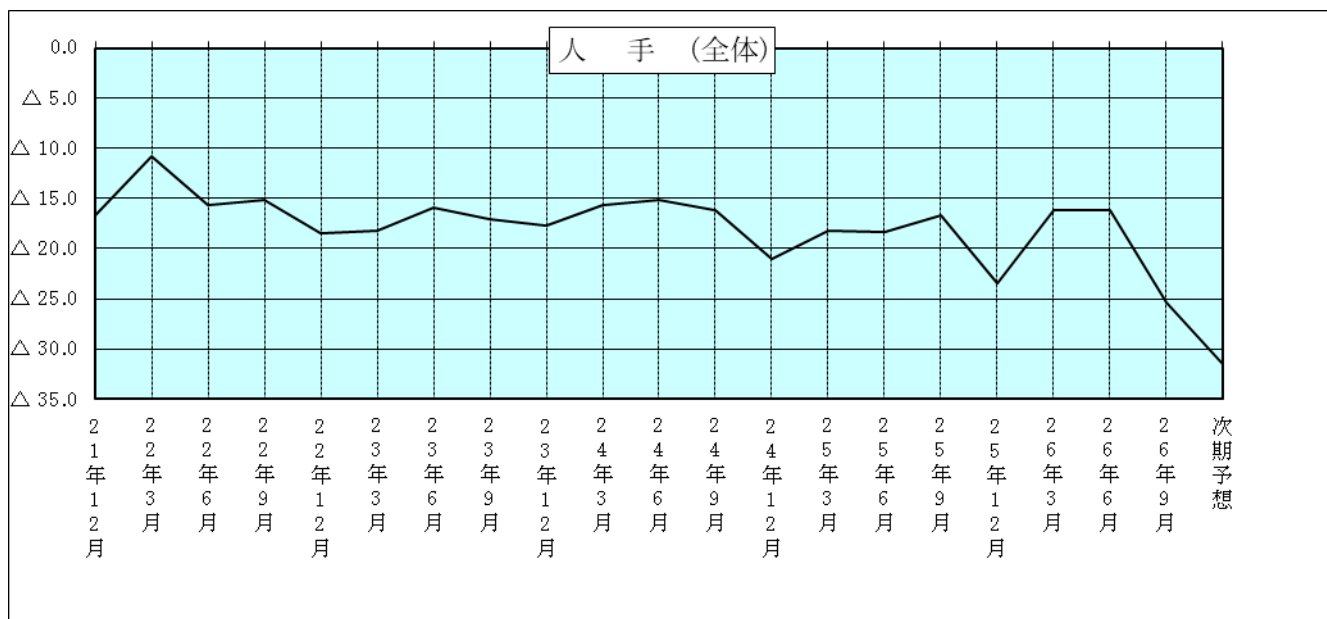
次回予想D I は、6.1 ㊦減少の△31.5 となる見通しである。

人 手 の 状 況 推 移

調査時点	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
2025年	4～6月	2.3	78.7	19.0	△ 16.7
2025年	7～9月	1.5	73.6	24.9	△ 23.4
2025年	10～12月	1.2	81.4	17.4	△ 16.2
2026年	1～3月	1.7	80.4	17.9	△ 16.2
2026年	4～6月	2.5	69.6	27.9	△ 25.4
	前回調査比	0.8	△ 10.8	10.0	△ 9.2
見通し	7～9月	2.0	64.5	33.5	△ 31.5
	今回調査比	△ 0.5	△ 5.1	5.6	△ 6.1

業種別人手状況(2026年7月～9月)

業 種	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		3.8	60.4	35.8	△ 32.0	△ 14.5	△ 33.9
卸 売 業		5.3	68.4	26.3	△ 21.0	△ 2.8	△ 33.3
小 売 業		2.7	83.8	13.5	△ 10.8	△ 14.4	△ 18.9
サ ー ビ ス 業		0.0	67.5	32.5	△ 32.5	△ 26.9	△ 45.0
建 設 業		2.7	70.3	27.0	△ 24.3	△ 15.8	△ 27.0
不 動 産 業		0.0	72.2	27.8	△ 27.8	△ 20.7	△ 27.8
全 体		2.5	69.6	27.9	△ 25.4	△ 16.2	△ 31.5



6. 経営上の 問題点・当面の重点経営施策

経営上の問題点では、「原材料高」「仕入先からの値上げ要請」「材料価格の上昇」「人件費増加」などが上位を占めるが、前回調査でどの業種とも1位・2位に入らなかった「人手不足」が多くの業種で1位・2位に入る状況となった。

当面の重点経営施策では、多くの業種で「経費を節減する」と「販路を広げる」が1位・2位に入ったが、サービス業および建設業で「人材を確保する」、小売業で「品揃えを改善する」が2位、不動産業では「情報力を強化する」が1位、「宣伝・広告を強化する」が2位となった。

経 営 上 の 問 題 点

(複数回答 単位:%)

業 種	1 位		2 位		3 位		4 位	
製 造 業	原材料高	37.7	人手不足	32.1	売上の停滞・減少	28.3		
			人件費の増加					
卸 売 業	仕入先からの値上げ要請	26.3	売上の停滞・減少	21.1				
			人手不足					
小 売 業	売上の停滞・減少	37.8	仕入先からの値上げ要請	32.4	利幅の縮小	24.3	人件費の増加	18.9
			問題なし					
サ ー ビ ス 業	人手不足	35.0	人件費の増加	27.5	売上の停滞・減少	25.0		
	材料価格の上昇							
建 設 業	材料価格の上昇	59.5	人手不足	32.4	売上の停滞・減少	24.3		
			同業者間の競争の激化					
不 動 産 業	同業者間の競争の激化	44.4	商品物件の不足	27.8	売上の停滞・減少	22.2		
					利幅の縮小			

当 面 の 重 点 経 営 施 策

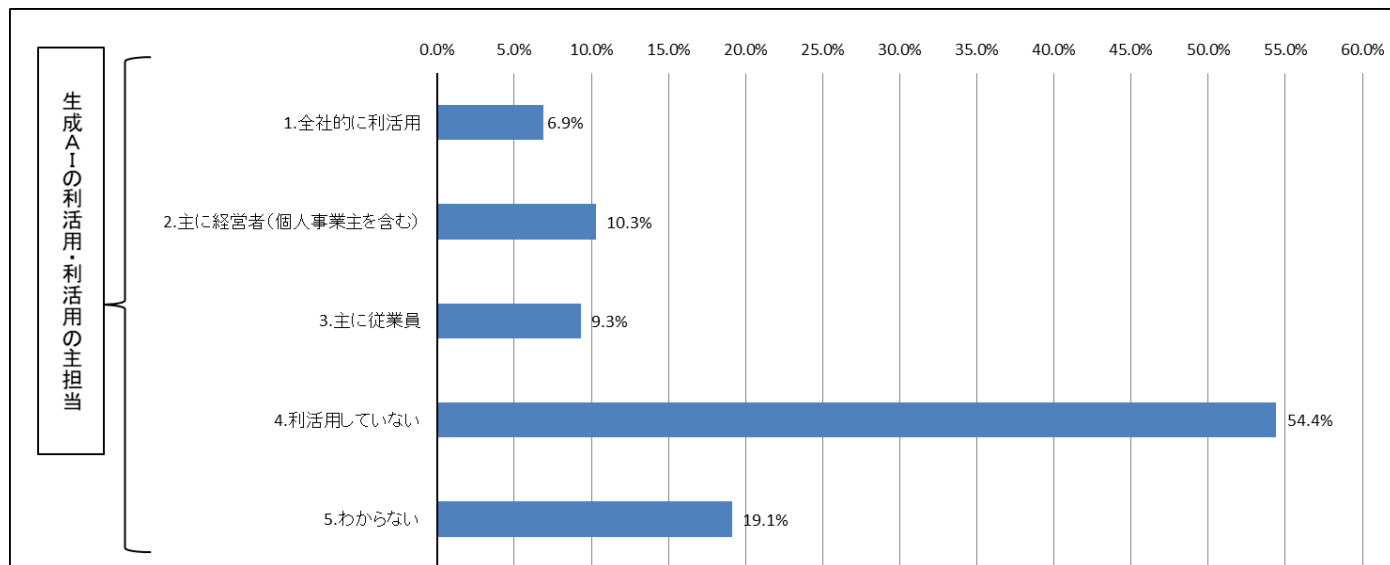
(複数回答 単位:%)

業 種	1 位		2 位		3 位		4 位	
製 造 業	経費を節減する	54.7	販路を広げる	49.1	人材を確保する	35.8	新製品・技術を開発する	18.9
卸 売 業	販路を広げる	63.2	経費を節減する	42.1	情報力を強化する	31.6	人材を確保する	26.3
小 売 業	経費を節減する	67.6	品揃えを改善する	32.4	売れ筋商品を取扱う	24.3	宣伝・広告を強化する	21.6
サ ー ビ ス 業	経費を節減する	50.0	販路を広げる	32.5	技術力を強化する	20.0		
			人材を確保する					
建 設 業	経費を節減する	45.9	人材を確保する	43.2	販路を広げる	37.8	技術力を高める	32.4
不 動 産 業	情報力を強化する	50.0	経費を節減する	33.3	販路を広げる	27.8		
			宣伝・広告を強化する					

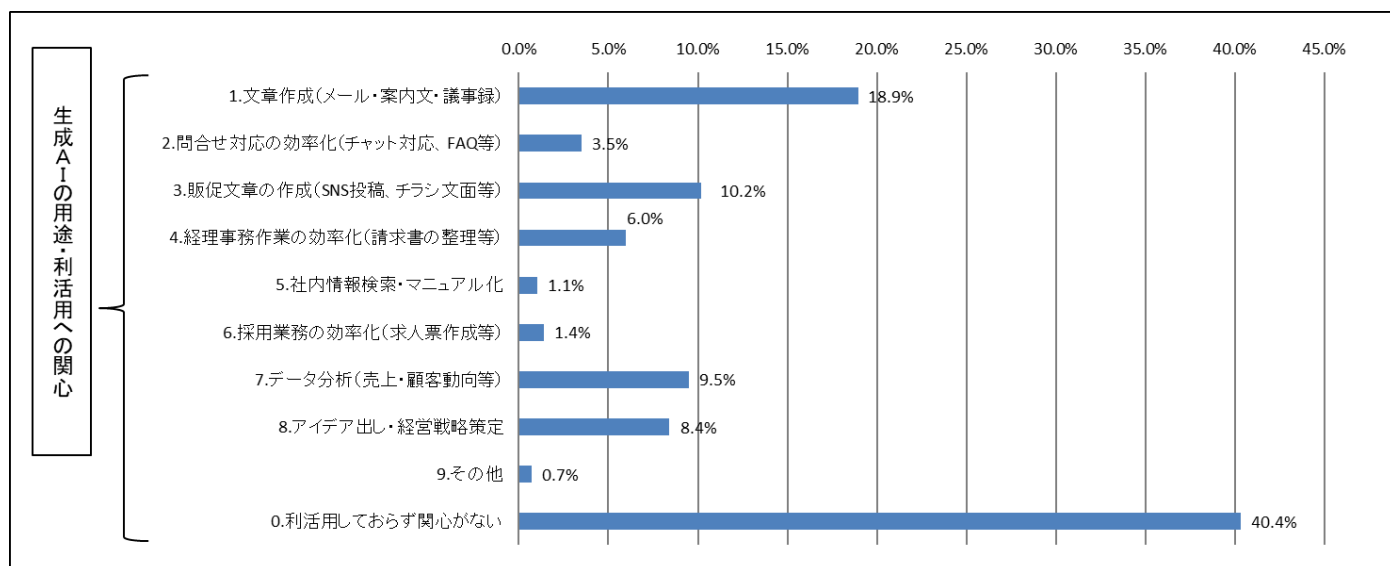
特別調査

中小企業における生成AIの利活用について

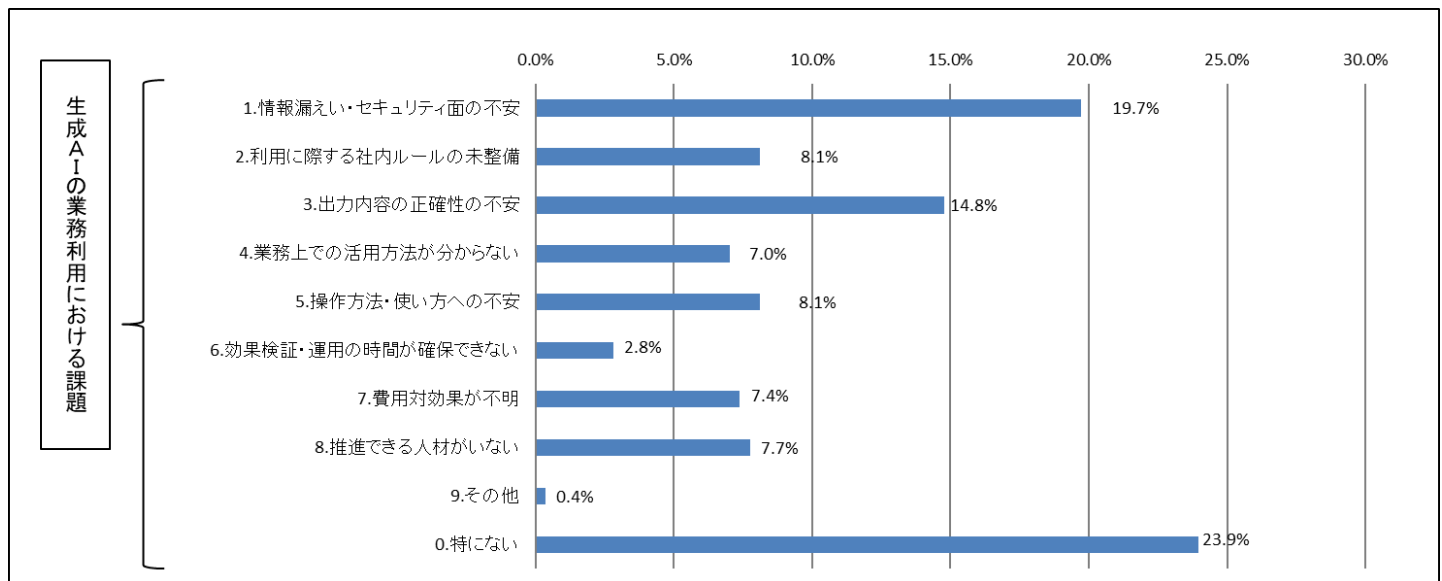
問. 1. 貴社では、業務上で生成 AI(ChatGPT、Gemini、Claude、DeepSeek 等)を利活用していますか。利活用している場合は主にどのような方が使っていますか。1～5 の中から 1 つ選んでお答えください。



問 2. 貴社では、業務上で生成 AIをどのような用途で利活用していますか。また、現時点で利活用していない場合は、どのような用途での利活用に関心がありますか。下記の 1～9 の中から当てはまるものについて 3 つ以内で選んでお答えください。



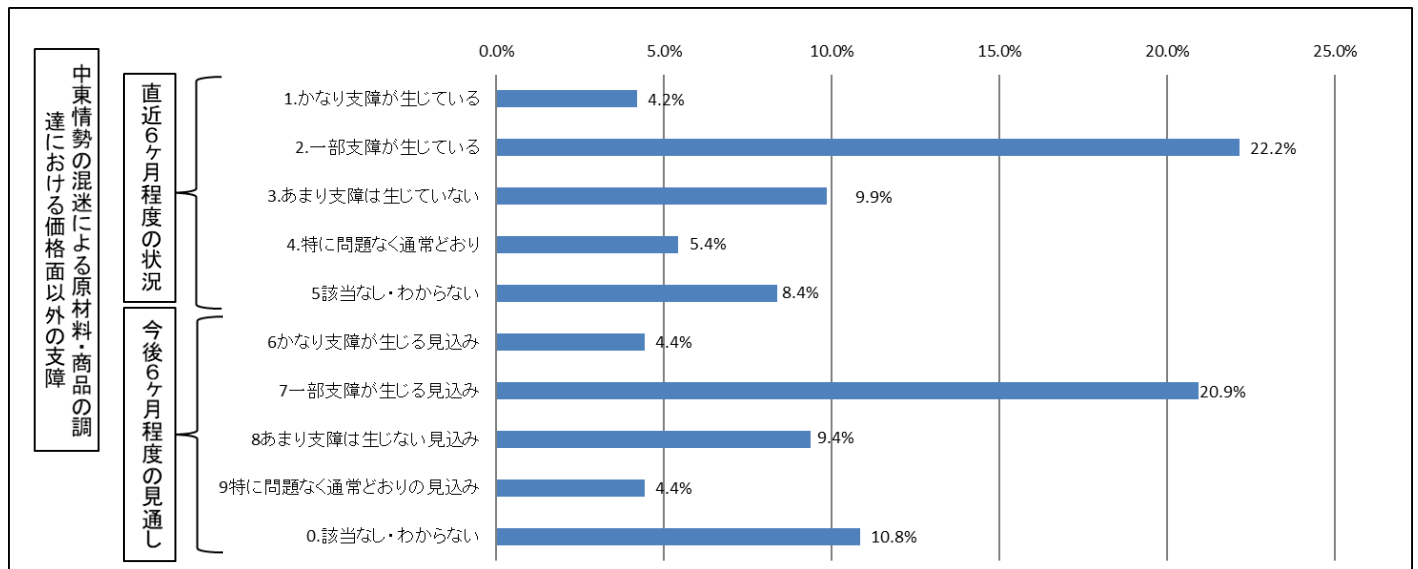
問 3. 貴社が生成 AI を業務で利活用する上で、課題となるのは何ですか。もし現時点で利活用していない場合は、その理由は何ですか。以下の 1～0 の中から当てはまるものについて 3 つ以内で選んでお答えください。



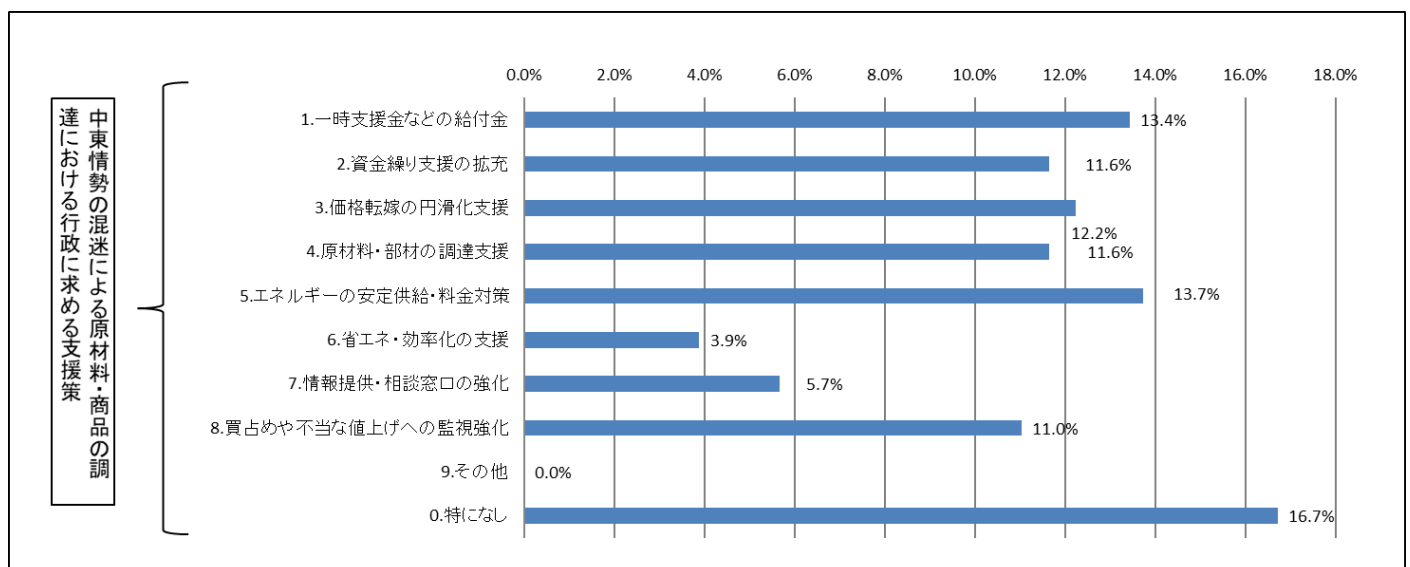
中小企業における生成AIの利活用について (景気動向調査の有効回答先から調査したものです)

1. 生成AIの利活用について、54.4%の回答が「利活用していない」、19.1%が「わからない」との回答であった。「わからない」の回答が示すように、企業内で利活用の方針決定が立ち遅れていることが見て取れ、中小企業における生成AIの活用が遅れている一つの要因となっているといえる。一方、「全社的に利活用」の回答が 6.9%あり、一部の企業においては既にAIが試験的な取組みにとどまらず、企業内で本格的に活用され始めている状況が伺える結果となった。
2. 生成AIの利活用の用途については「メールなどの文章作成」18.9%、「チラシ文面等の販促文章の作成」10.2%等、文章作成などの業務に多く利用され、「データ分析」9.5%、「アイデア出し」8.4%等の経営分析、戦略策定などの面においても利活用がある反面、「問い合わせ対応」3.5%、「社内情報検索」1.1%、「採用業務」1.4%などの業務効率化の利用は少数となった。
3. 生成AIの業務利用における課題については、「情報漏洩・セキュリティ面の不安」19.7%、「出力内容の正確性の不安」14.8%が多くあり、「ルール未整備」8.1%、「操作方法の不安」8.1%、「人材がいない」7.7%、「費用対効果が不明」7.4%、「活用方法が分からない」7.0%と続いた。

4. 2026 年春以降の中東情勢の混迷等により、貴社では原材料や商品等の調達(仕入れ)に際して、欠品や納期遅れ等、価格面以外での支障が生じていますか。直近(6か月程度)の状況について1～5の中から、今後(6か月程度)の見通しについて6～0の中から最も当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでお答えください。



問 5. 中東情勢の混迷等により、原油価格等の高騰や、原材料・商品等の調達が困難な状況が生じています。これを受けて、今後、行政に求める支援策は何ですか。以下の1～0の中から当てはまるものについて3つ以内で選んでお答えください。



中東情勢による影響

(景気動向調査の有効回答先から調査したものです)

4. 中東情勢の混迷等による価格面以外での支障について、直近 6 ヶ月の状況、今後 6 か月の見通しともに、「かなり支障が生じる」「一部支障がある」の回答が「あまり支障はない」「通常通り」の回答を上回る結果となった。また、約 1 割程度の回答は「該当なし・わからない」となっており、混迷する状況の先行きが不透明であり、長く続くことによる影響を不安視していることを反映した結果となった。
5. 中東情勢の混迷等による各種影響における行政に求める支援策について、「特になし」との回答が 16.7%と最も多く、続いて「エネルギーの安定供給・料金対策」13.7%、「一時支援金などの給付金」13.4%、「価格転嫁の円滑化支援」12.2%、「資金繰り支援の拡充」「原材料・部材の調達支援」11.6%、「買占めや不当な値上げへの監視強化」11.0%等と続いた。「特になし」を含め回答が集中した項目は無く、幅広い内容での支援を求めていることを伺える結果となった。